

「第33回南日本クロスカントリー大会INきほく」新型コロナウイルス感染防止マニュアル

令和3年1月28日作成

1 大会開催にあたっての基本的注意事項（スタッフ・参加者など全ての人が対象）

（1）3密の回避徹底

- ・密閉空間、密集場所、密接場面を避ける。

（2）参加判断

- ・体調がよくない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）は参加しないこと。
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は参加しないこと。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加しないこと。

2 主催者としてすべきこと

- ・選手、監督、役員に対し、体調管理チェック表の記録及び提出を義務付ける。
- ・体調管理チェック表の提出の無い選手は参加を許可しない。
- ・当日の来場者には必ず受付を行うように周知を行う。
- ・参加者より提出を求めた書面は大会後、1か月間保存する。

※個人情報感染症予防対策目的として取得するものであり、感染者が発生した場合に、保健所、医療機関等の第三者へ情報提供をする。

※保存期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに廃棄を行う。

- ・風邪の症状など、体調が悪そうに見える人にはその場で検温を実施し、状況により参加を許可しない。
- ・運動時を除きマスクの着用を義務付け、参加者に対して注意喚起を行う。
- ・手洗い、手指の消毒、洗顔、うがいの徹底を呼び掛ける。
- ・新型コロナウイルス感染症が重症化しやすい基礎疾患（糖尿病、心不全、呼吸器疾患、高血圧など）を持っている者には役員募集の際に辞退するよう促す。
- ・招集待機時に密集、密接状態にならないよう感覚を広く空けて招集させる。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」の活用を積極的に促す。

3 参加者としてすべきこと

- ・体調管理チェック表を受付時に提出すること。
- ・各チーム内で3密の回避、体調管理、感染対策を徹底すること。
- ・選手及び監督に関係する人（応援する人、保護者など）に対して受付をするよう促す。
- ・運動時以外はマスクを着用する。
- ・ゴミは各自で持ち帰る。
- ・密集、密接状況で声を出しての応援を行わない。

4 その他

- ・日本陸上競技連盟の陸上競技活動再開のガイダンス（2021年1月15日改定）を参考に大会を運営する。
- ・主催者は、大会関係者の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任も負わない。